

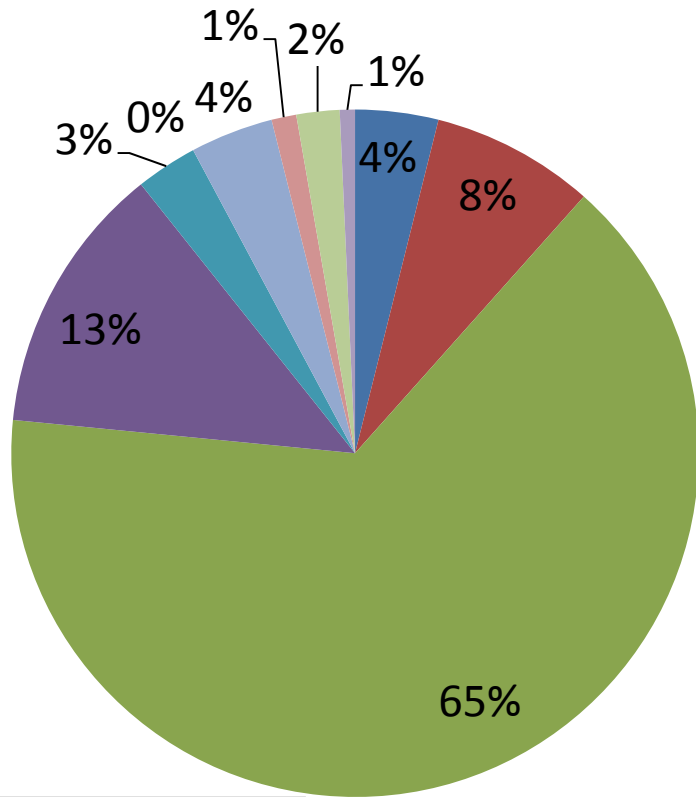
措置入院者の症状消退届の 記載に係る現状について

【実態把握の方法】

11自治体(5県、6政令市)を対象に、
平成27年4月以降の任意の1~12ヶ月間に受理した
症状消退届の記載内容を把握した。

(計691件、最小11件~最大221件/自治体)

主たる精神障害（全体）

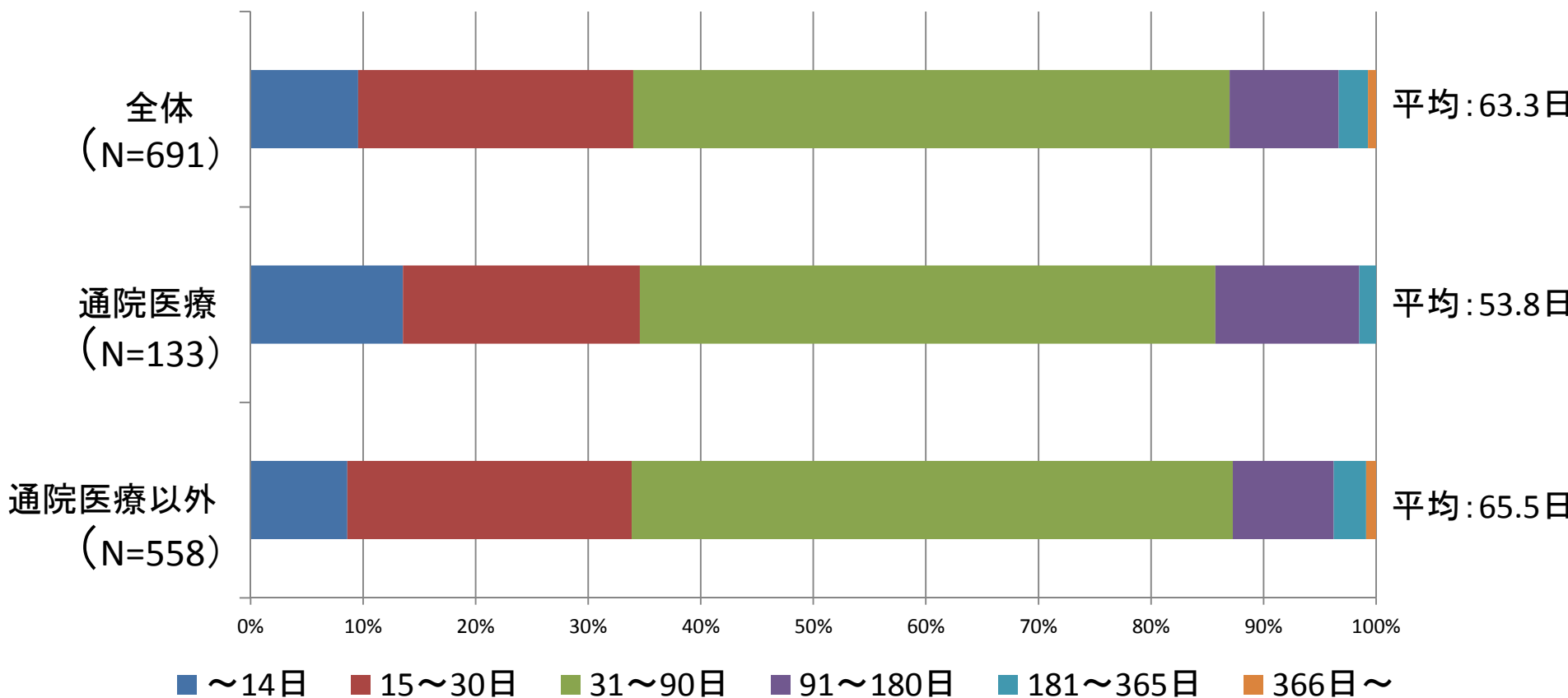


主たる精神障害

	主たる精神障害	人数	%
■ F0	F0（症状性を含む器質性精神障害）	27	3.9
■ F1	F1（精神作用物質使用による精神および行動の障害）	53	7.7
■ F2	F2（統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害）	449	65
■ F3	F3（気分障害）	88	12.7
■ F4	F4（神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害）	20	2.9
■ F5	F5（生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群）	0	0
■ F6	F6（成人のパーソナリティおよび行動の障害）	27	3.9
■ F7	F7（精神遅滞[知的障害]）	8	1.2
■ F8	F8（心理的発達の障害）	14	2.0
■ F9	F9（小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害、特定不能の精神障害）	5	0.7
	Total	691	100

年齢	44.6(±14.7)歳
性別	男性59.5% 女性40.5%
身体合併症有り	11.6%

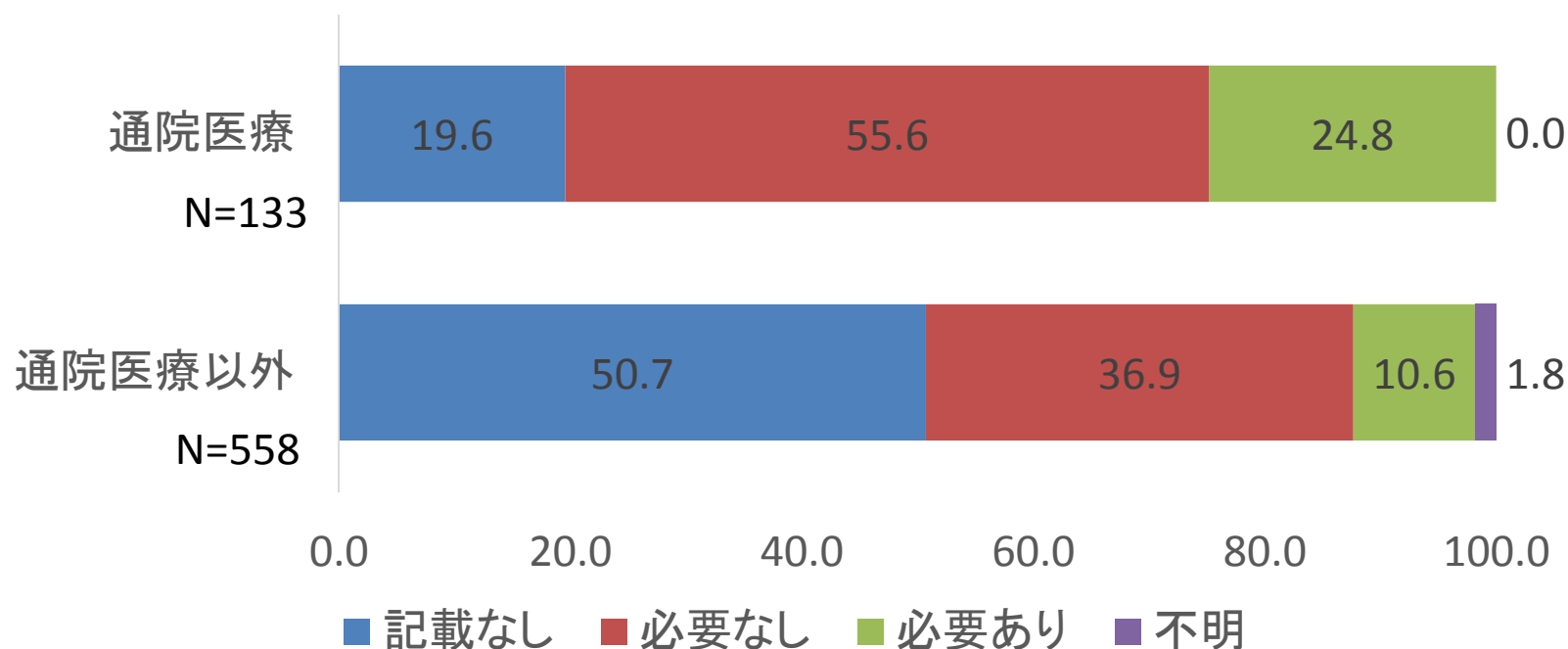
措置入院日から症状消退届提出までの期間



※参考 措置入院患者の平均在院日数(推定) H16年:174.7日 H25年:87.5日

訪問指導等に関する意見の記載(全体)

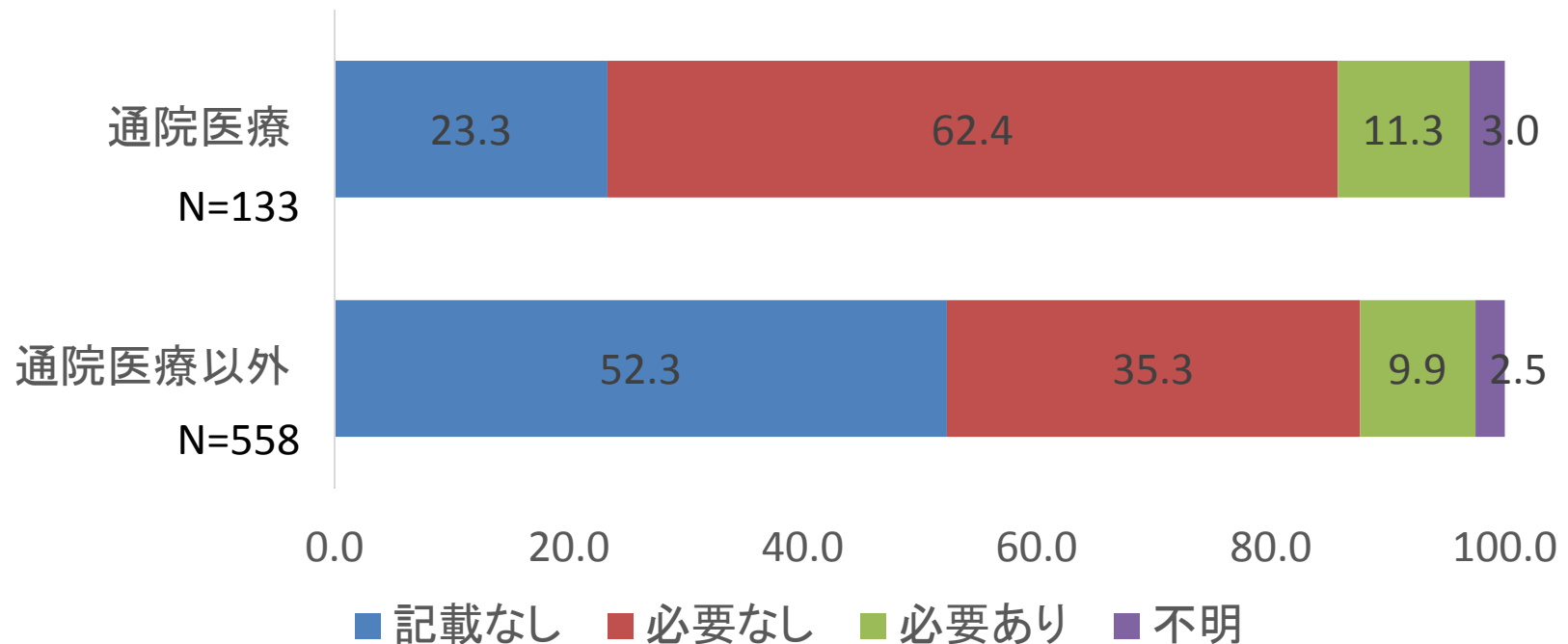
- 措置解除後に直接通院となるケースでは、全体の80%が意見を記載している。
- 措置解除後に直接通院となるケース以外(入院継続等)では、全体の48%が意見を記載している。



記載内容から訪問指導等が必要ないと判断できる場合は「必要なし」、
記載内容から訪問指導等が必要であると判断できる場合は「必要あり」と回答

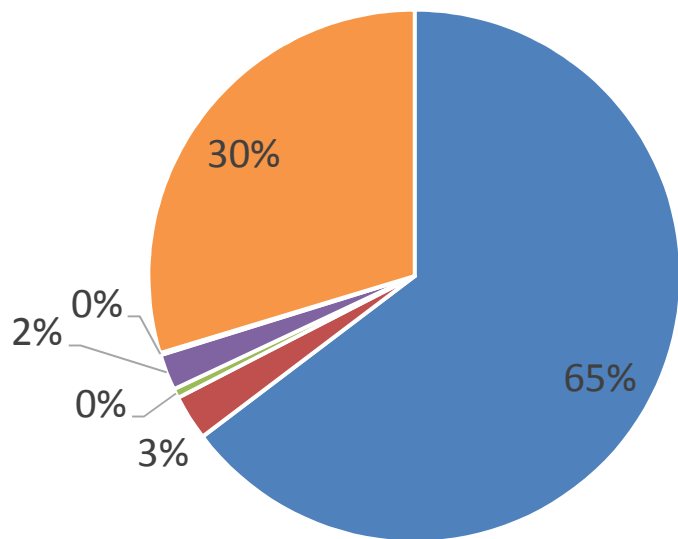
障害福祉サービス等の活用に関する意見の記載(全体)

- 措置解除後に直接通院となるケースでは、全体の74%が意見を記載している。
- 措置解除後に直接通院となるケース以外(入院継続等)では、全体の45%が意見を記載している。

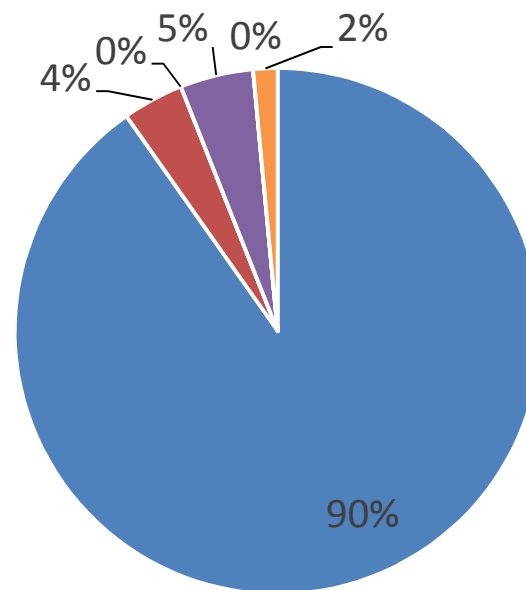


記載内容から障害福祉サービス等が必要ないと判断できる場合は「必要なし」、
記載内容から障害福祉サービス等が必要であると判断できる場合は「必要あり」と回答

措置解除後の住所変更



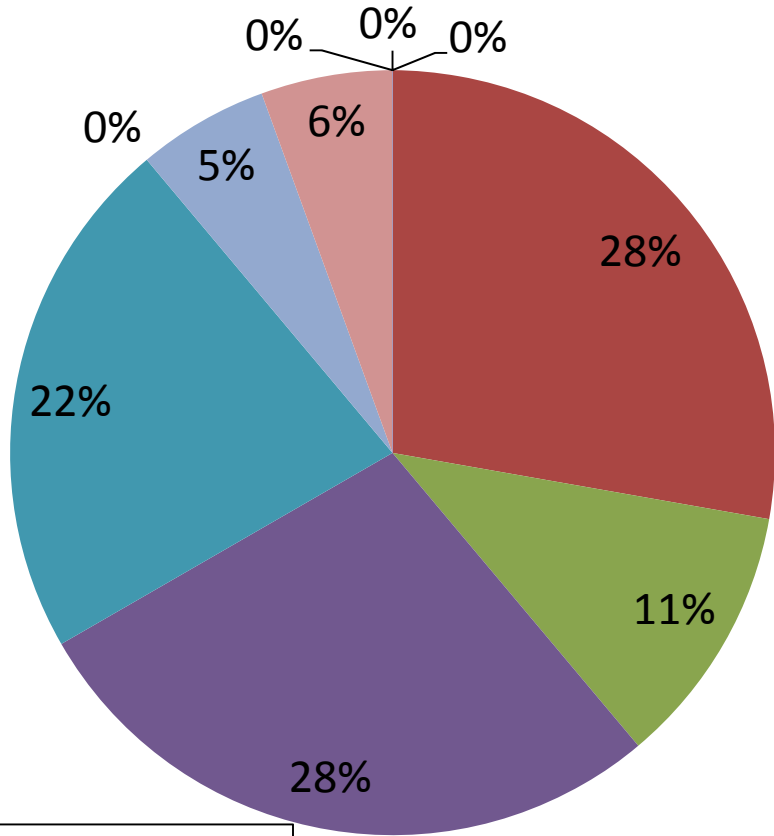
全体(N=691)



措置解除後、直接通院群(N=133)

- 変更なし
- 同一の保健所設置自治体(都道府県、政令市、中核市、特別区)への移動
- 異なる保健所設置自治体(都道府県、政令市、中核市、特別区)への移動
- 異なる都道府県への移動
- その他
- 不明

措置入院日から症状消退届提出までが14日以内で、 直接通院となる患者について



主たる精神障害

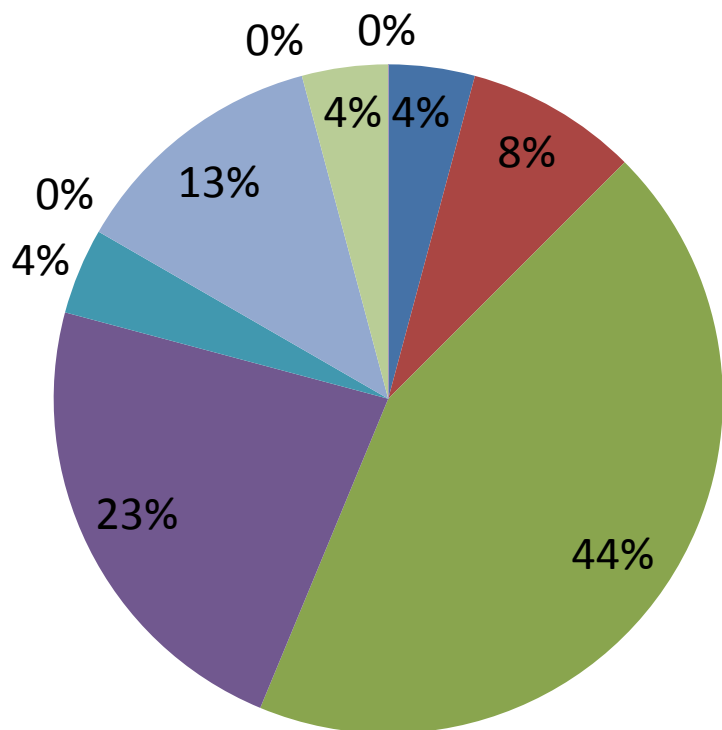
主たる精神障害	人数	%
F0 (症状性を含む器質性精神障害)	0	0
F1 (精神作用物質使用による精神および行動の障害)	5	27.8
F2 (統合失調症, 統合失調型障害および妄想性障害)	2	11.1
F3 (気分障害)	5	27.8
F4 (神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害)	4	22.2
F5 (生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群)	0	0
F6 (成人のパーソナリティおよび行動の障害)	1	5.6
F7 (精神遅滞[知的障害])	1	5.6
F8 (心理的発達の障害)	0	0
F9 (小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害、特定不能の精神障害)	0	0
Total	18	100

年齢 31.8(±8.1)歳

性別 男性44.5% 女性55.5%

身体合併症有り 16.7%

措置入院日から症状消退届提出までが14日以内で、 通院以外の転帰となる患者について



主たる精神障害

- F0
- F1
- F2
- F3
- F4
- F5
- F6
- F7
- F8
- F9

主たる精神障害	人数	%
F0 (症状性を含む器質性精神障害)	2	4.2
F1 (精神作用物質使用による精神および行動の障害)	4	8.3
F2 (統合失調症, 統合失調型障害および妄想性障害)	21	43.8
F3 (気分障害)	11	23.0
F4 (神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害)	2	4.2
F5 (生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群)	0	0
F6 (成人のパーソナリティおよび行動の障害)	6	12.5
F7 (精神遅滞[知的障害])	0	0
F8 (心理的発達の障害)	2	4.2
F9 (小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害、特定不能の精神障害)	0	0
Total	48	100

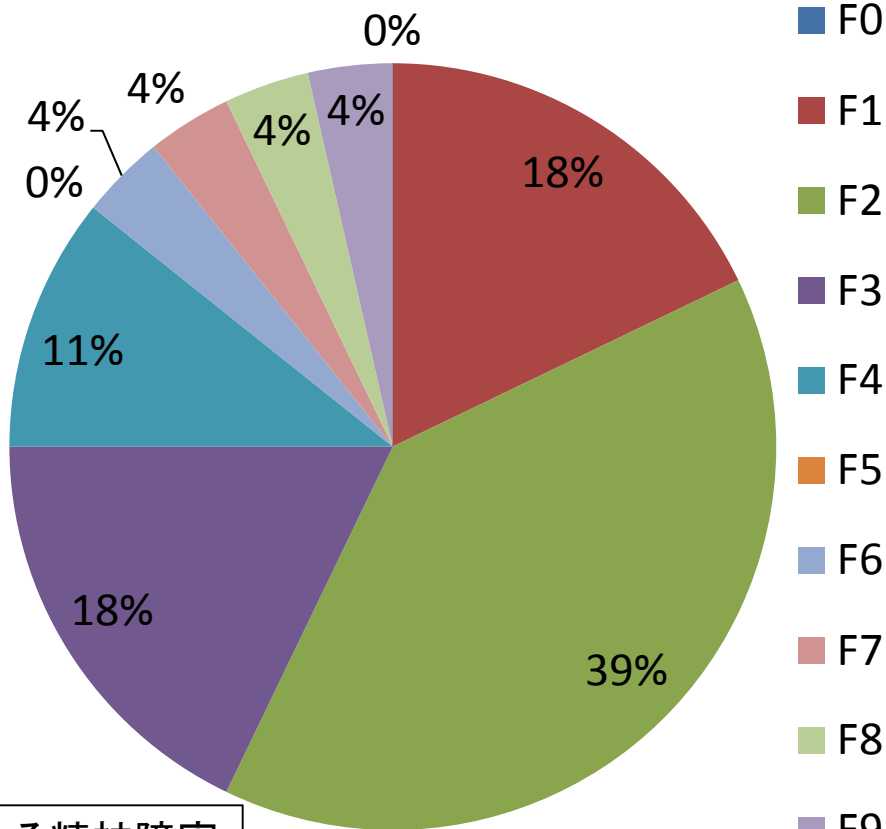
年齢 41.5(±15.1)歳

性別 男性62.5% 女性37.5%

身体合併症有り 18.8%

措置消退後の経過	人数	%
医療保護入院	28	58.3
任意入院	8	16.7
他科	1	2.1
転医	11	22.9
その他	0	0
死亡	0	0

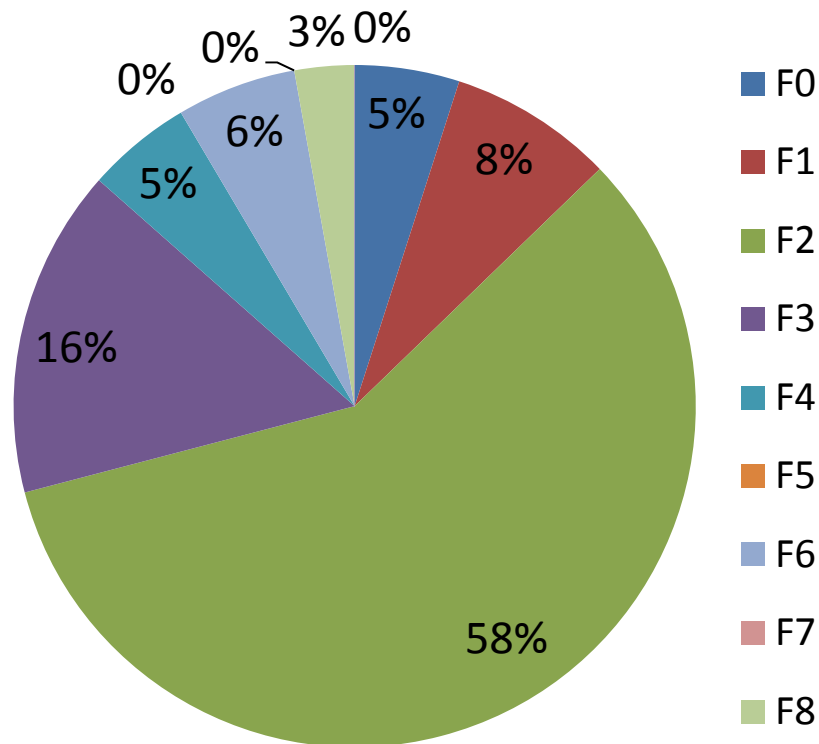
措置入院日から症状消退届提出までが15～30日で、 直接通院となる患者について



主たる精神障害	人数	%
F0 (症状性を含む器質性精神障害)	0	0
F1 (精神作用物質使用による精神および行動の障害)	5	17.9
F2 (統合失調症, 統合失調型障害および妄想性障害)	11	39.3
F3 (気分障害)	5	17.9
F4 (神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害)	3	10.7
F5 (生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群)	0	0
F6 (成人のパーソナリティおよび行動の障害)	1	3.6
F7 (精神遅滞[知的障害])	1	3.6
F8 (心理的発達の障害)	1	3.6
F9 (小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害、特定不能の精神障害)	1	3.6
Total	28	100

年齢	40.6(±13.9)歳
性別	男性60.7% 女性39.3%
身体合併症有り	25.0%

措置入院日から症状消退届提出までが15～30日で、 通院以外の転帰となる患者について



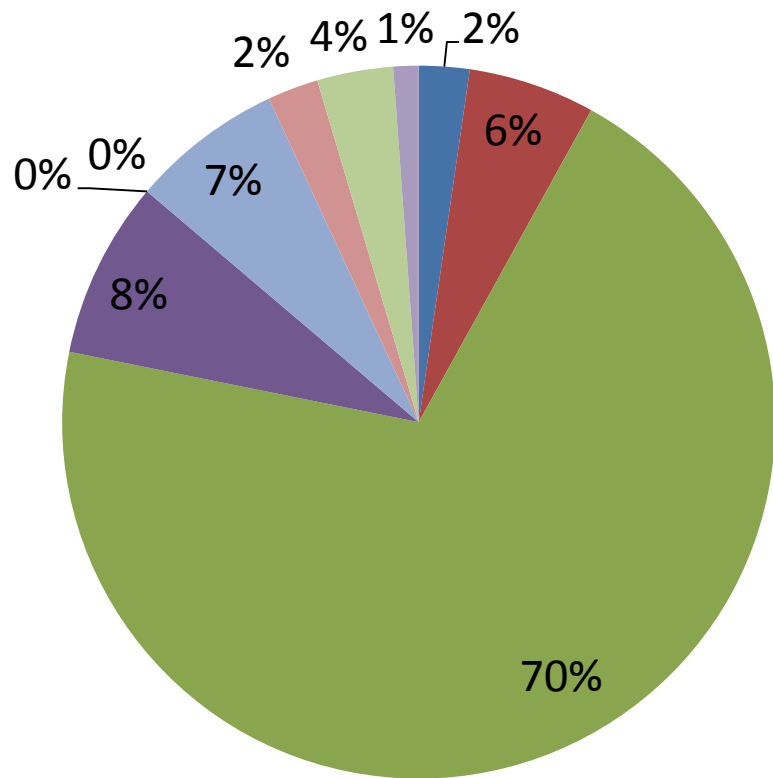
主たる精神障害

主たる精神障害	人数	%
F0 (症状性を含む器質性精神障害)	7	5.0
F1 (精神作用物質使用による精神および行動の障害)	11	7.8
F2 (統合失調症, 統合失調型障害および妄想性障害)	82	58.2
F3 (気分障害)	22	15.6
F4 (神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害)	7	5.0
F5 (生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群)	0	0
F6 (成人のパーソナリティおよび行動の障害)	8	5.7
F7 (精神遅滞[知的障害])	0	0
F8 (心理的発達の障害)	4	2.8
F9 (小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害、特定不能の精神障害)	0	0
Total	141	100

年齢	42.5(±14.6)歳
性別	男性55.3% 女性44.7%
身体合併症有り	11.3%

措置消退後の経過	人数	%
医療保護入院	80	56.7
任意入院	39	27.7
他科	0	0
転医	19	13.5
その他	0	0
死亡	3	2.1

措置入院日から症状消退届提出までが31日以上で、 直接通院となる患者について



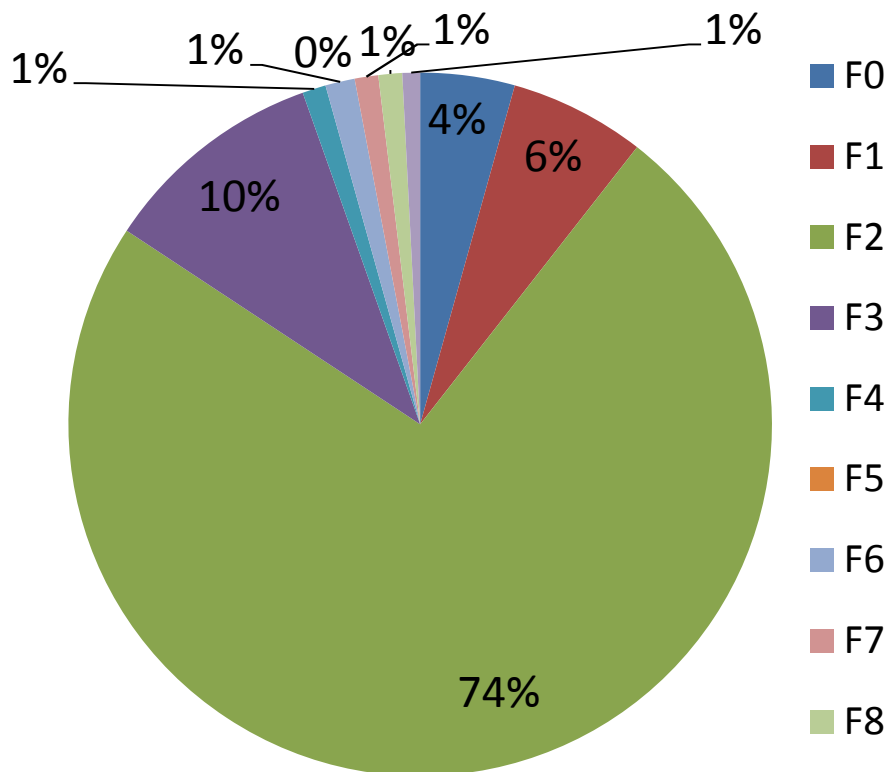
主たる精神障害

年齢	44.6(±13.5)歳
性別	男性58.6% 女性41.4%
身体合併症有り	8.0%

- F0
- F1
- F2
- F3
- F4
- F5
- F6
- F7
- F8
- F9

主たる精神障害	人数	%
F0 (症状性を含む器質性精神障害)	2	2.3
F1 (精神作用物質使用による精神および行動の障害)	5	5.7
F2 (統合失調症, 統合失調型障害および妄想性障害)	61	70.1
F3 (気分障害)	7	8.0
F4 (神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害)	6	6.9
F5 (生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群)	0	0
F6 (成人のパーソナリティおよび行動の障害)	6	6.9
F7 (精神遅滞[知的障害])	2	2.3
F8 (心理的発達の障害)	3	3.4
F9 (小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害、特定不能の精神障害)	1	1.1
Total	87	100

措置入院日から症状消退届提出までが31日以上で、 通院以外の転帰となる患者について



主たる精神障害	人数	%
F0 (症状性を含む器質性精神障害)	16	4.3
F1 (精神作用物質使用による精神および行動の障害)	23	6.2
F2 (統合失調症, 統合失調型障害および妄想性障害)	272	73.7
F3 (気分障害)	38	10.3
F4 (神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害)	4	1.1
F5 (生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群)	0	0
F6 (成人のパーソナリティおよび行動の障害)	5	1.4
F7 (精神遅滞[知的障害])	4	1.1
F8 (心理的発達の障害)	4	1.1
F9 (小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害、特定不能の精神障害)	3	0.8
Total	369	100

年齢 46.7(±14.7)歳

性別 男性61.5% 女性38.5%

身体合併症有り 10.3%

措置消退後の経過	人数	%
医療保護入院	236	64.0
任意入院	91	24.7
他科	0	0
転医	38	10.3
その他	3	0.8
死亡	0	0

措置解除後の経過

措置解除後の経過	人数	%
入院継続	483	69.9
通院医療	133	19.2
転医	68	9.8
死亡	0	0.0
その他	7	1.0

転医 住居	人数	%
自宅(同居)	37	54.4
自宅(独居)	17	25.0
施設	1	1.5
その他	8	11.8
不明	5	7.4

転医 退院後帰住先	人数	%
変更なし	52	76.5
同一の保健所設置自治体への移動	3	4.4
異なる保健所設置自治体への移動	2	2.9
異なる都道府県への移動	8	11.8
不明	3	4.4

入院継続内訳	人数	%
医療保護入院	344	71.2
任意入院	138	28.6
他科	1	0.2

通院医療 住居	人数	%
自宅(同居)	78	58.6
自宅(独居)	50	37.6
施設	1	0.8
その他	2	1.5
不明	2	1.5

通院医療 退院後帰住先	人数	%
変更なし	120	90.2
同一の保健所設置自治体への移動	5	3.8
異なる保健所設置自治体への移動	0	0.0
異なる都道府県への移動	6	4.5
不明	2	1.5